

# 鉢形公民館通信

編集・発行 鹿嶋市立鉢形公民館

住 所 〒314-0033

鹿嶋市鉢形台3-15-1

電話番号 90-3430

F A X 90-3431

開館時間 9:00~17:00 ※月曜休館

令和5年6月1日(木)発行 6月号(No.77)

## 7月分 公民館施設利用受付

6月1日(木)受付開始

### 鉢形はつらつ体操教室

毎月第1・2・3水曜日  
(10時~11時30分)

### ごみ回収と防犯パトロール

毎週木曜日10時~

※ゴミ回収は、1人暮らしの高齢者で、  
申込者のみ行っています。

### 休館日

5日・12日・19日・26日

※事業の予定は、変更になることがあります。  
予めご了承ください。

30	28	25	23	22	17	16	14	10	4	6
(金)	(水)	(日)	(金)	(木)	(土)	(金)	(水)	(土)	(日)	
まちづくり委員会 3役会議	そば打ち教室	三世代交流 eスポーツ大会	鉢形地域を考える会 自警団発足式	わいわい楽習塾 茨城県庁・近代美術館見学	はちつこ寺子屋 勉強と体験学習	ときめき学級 花植え	子育て支援事業 キッドピクス	ときめき学級 除草作業	まちづくり 連絡協議会研修会	
19:00~	9:00~	9:30~	10:00~	8:30~	13:00~	8:30~	10:00~	8:30~	10:00~	

## 三世代交流 eスポーツ大会

■6月25日(日)9:30~ ※受付9時~ ※事前申込み先着16名

鉢形地区まちづくり委員会が、鉢形公民館にて、「三世代交流eスポーツ大会」を開催します！  
障がいや年齢、体力の壁を越えて誰もが参加できるといわれているeスポーツ。

2019年、茨城県で国内初のeスポーツの国体が開催されました。

昨今では、共生社会の実現や就労支援、介護予防、障害の有無に関わらず多世代の交流などに寄与すると、多くの社会福祉協議会や福祉施設などからも注目されています。2023年の6月22日~25日にかけて世界で初めてシンガポールでeスポーツのオリンピックが開催されることにもなりました。

そんなeスポーツを性別や年齢を問わずにみんなで交流体験しましょう！  
ぜひ、みなさんのご参加をお待ちしています！お気軽にお問合せください。

三世代交流eスポーツ大会開催のお知らせ

日時：2025.6.25(日) 9:30~17:00

場所：鉢形公民館

対象：鉢形地区在住の小学生~高齢者まで

参加費：無料

申込方法：下記申込用紙に必要事項を記入し、郵送または直接公民館へお申し込みください。

氏名	年齢(学年)	連絡先	保護者名

## 鉢形地域を考える会自警団発足式



■6月23日(金)10:00~

鉢形公民館にて、「鉢形地域を考える会自警団発足式」を行います。鉢形地域を考える会のみなさんが、地域の安全を守るため立ち上がります！詳細は7月号にて掲載します！

## 鉢形北区のみなさんが自主防災訓練を実施しました！

■5月21日(日)9:30~

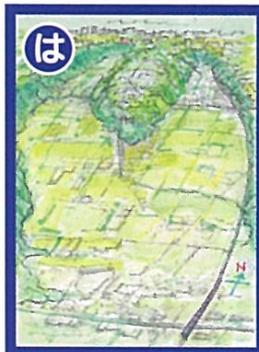
鉢形北区のみなさんが自主防災訓練を実施しました。「この防災訓練の体制の立ち上げは約15年前、私が区長の時、副区長の後藤さんという方が尽力してくれたからこそできています。」と話す防災士の榎本几久さん。

近所への声掛けや安否確認を行い、避難者や在宅の方たちは、黄色いタオルを玄関など見える位置に置き自分の身の安全を周りへ知らせました。避難者は班長の誘導で鉢形公民館へ集まり、各班長から区長へ避難者の人数や被害状況を報告後、参加者全員でバケツリレー消火訓練や物干し竿と毛布で簡易担架を作成しました。

参加者の安田健二さん(43)は、「バケツリレーを行うのも、人を担架で運ぶことも、一人ではできない事であり、みんなが協力してできることなので、常日頃からの近所の方とのお付き合いは大事だと思いました。」と話していました。鉢形北区区長佐藤淳雄さんは、「コロナ禍の影響で3年ぶりの実施となりましたが、多数の参加がありとてもよかったです。また来年もご協力をお願いします。ご協力ありがとうございました。」と話していました。防災意識が高く、地域みんなで助け合える鉢形北区です！



# ～ 鉢形かるた（は行編）～



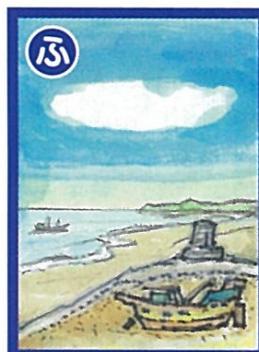
は 鉢形の  
地名由来は  
おわん形の山だった

粟生谷津に突き出ている半島状の地で、通称鹿島台地先端の旧高松村の字「前山峡(まえやまきょう)」は標高が40メートルあって、おわんや鉢を伏せたような形であることから「鉢形」の名がついたようです。(鹿嶋市史-地誌編-より)「新編常陸国誌」には応永23年(1416年)の文書に初めて鉢形の名が出ていることが書かれています。

古い時代には神宮寺沢池に棲む亀の甲羅で鹿島の神をお世話する物忌みを決める亀甲占いが行われていました(近年は神栖市田畑から奉納された亀を使用)。池は神宮寺の近くにあり、周辺は松林になっていました。篠竹などで覆われていますが、現在も池の様子がうかがえます。じごじゃいけは「神宮寺沢池」や「寺後沢池」がなまって呼ばれるようになったといわれています。かつては、占いに使われた亀を供養する「亀塚」もありましたが、今は場所も不明です。



ひ ひつみと  
神秘ただよう  
神宮寺沢池  
(寺後沢池)



ふ 船塚は  
風土記に伝わる  
難破船

鉢形(旧集落)の北はずれ、神宮寺跡の北東に古くから「船塚」と呼ばれるところがありました。「常陸国風土記」によれば天智天皇の御代に大きな船が鹿島灘に面した浜に漂着したとあり、船が難破してこの浜に漂着し、長い間に風砂に埋もれて塚になったといわれています。(鹿嶋市史地誌編より)

太平洋戦争末期、海軍航空隊・神之池基地が設置され、神之池海軍航空隊発足、特別訓練攻撃隊が組織されました。現在の日本製鉄(旧住友金属)鹿島製鉄所の敷地の一部は、特別攻撃機「桜花」の訓練基地になりました。ここで訓練を受けた若者たちが九州の鹿屋(かのや)飛行場から飛び立ち、太平洋上に散っていきました。平成5年(1993年)、平和を祈る公園として桜花公園が開園され、建碑の「由来碑」は歴史小説家の山岡荘八氏が書いたものです。公園には、掩体壕(えんたいごう)が保存され「桜花」の復元機も置かれています。恒久平和と戦没者の御霊の供養に多くの人が訪れます。



へ 平和への  
願いを祈る  
桜花の碑



ほ ほたる飛ぶ  
湧水清い  
九反田池

九反田池の由来は、池の下に広がる田んぼの面積が、九反歩であったことからといわれています。近年では生活雑排水が流れ込み、昔の面影はなく荒れ地になっていましたが、平成18年に「昔の池を取り戻そう」との声が上がり、地元有志による「九反田池再生プロジェクト」が結成されて池の浄化に取り組み、平成21年に再生された「九反田池」が誕生しました。再生が実った池の周りには河津桜が咲き、池には鯉が泳ぎ、夏にはホタルが飛び、地区の大切な憩いの一部になっています。現在、九反田池管理委員会を立ち上げ、委員会が中心となって九反田池を孫の代までキレイに残そうと頑張っています。